



ユニ・チャーム株式会社
証券コード 8113



やさしさをつくる。やさしさでささえる。

株主の皆様へ

第63期 中間報告書

2022年1月1日～2022年6月30日

 **Paralym Art**

障がい者アートを応援しています

パラリンアートとは
障がい者アーティストの経済的な自立を目的とし、
彼らのビジネス支援を行う活動です。



このマークをクリックすると
当社ホームページ内の
関連情報を参照できます。

 **統合レポート2022** 

<https://www.unicharm.co.jp/ja/ir/report.html>

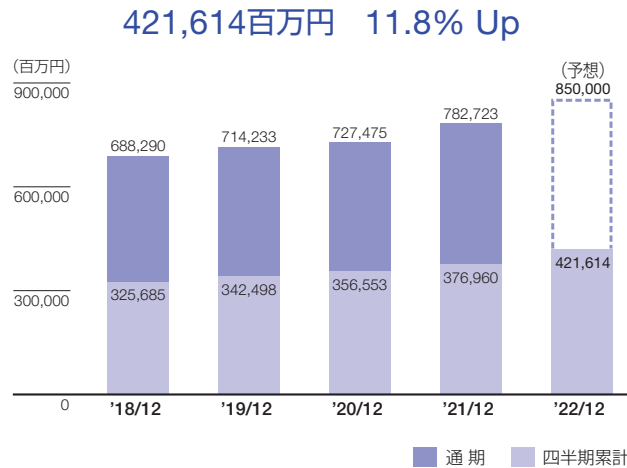
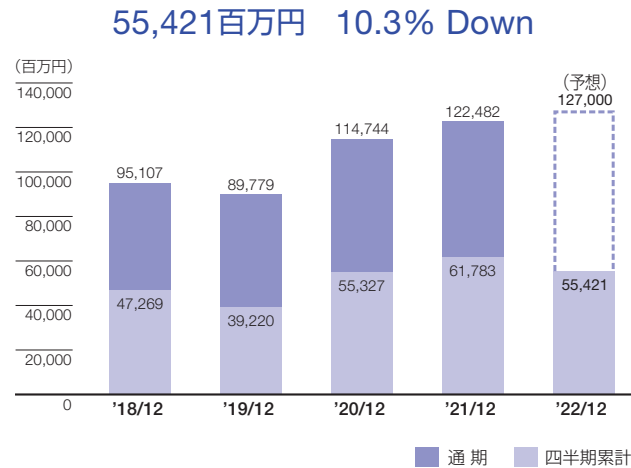


 **ESG情報一覧** 

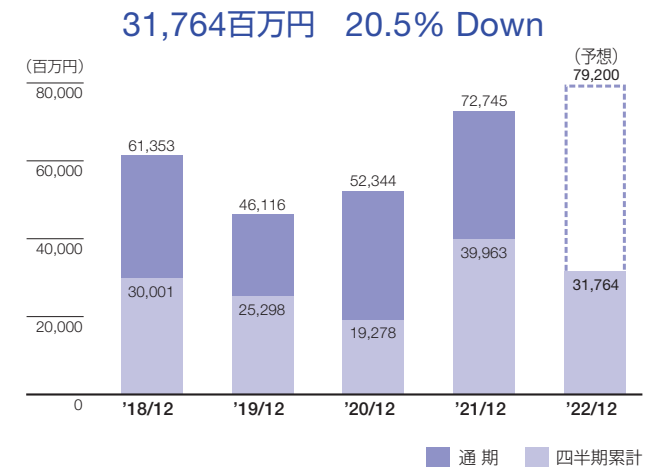
<https://www.unicharm.co.jp/ja/csr-eco/esg.html>



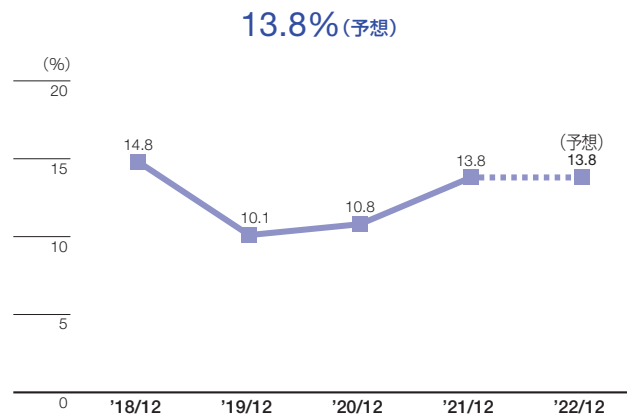
売上高

コア営業利益^{※2}

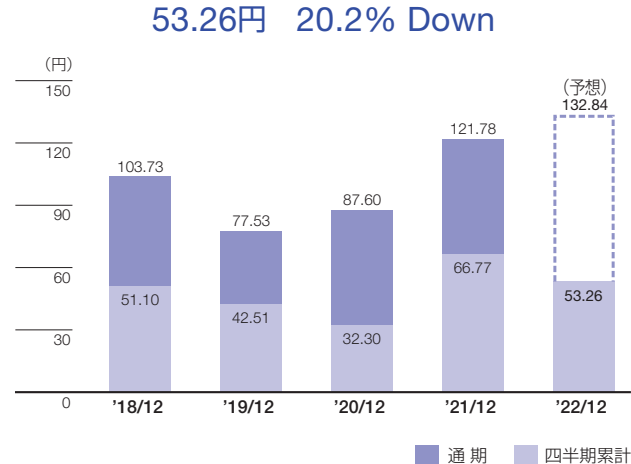
親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益



親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)



基本的1株当たり四半期(当期)利益



1株当たり配当額



当第2四半期連結累計期間(2022年1月1日~2022年6月30日)における当社グループをとりまく経営環境は、ウクライナ情勢などの悪化による地政学リスクの高まりを受け、さらなる資源価格の高騰や、経済制裁の余波などの影響で、インフレーションの加速懸念が強まり、予断を許さない状況が続いております。

海外においては、タイやインド、インドネシアなどの主要参入各国で新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)による景気の悪化からは持ち直しの動きがみられております。一方でゼロコロナ政策を掲げる中国では、一時的なロックダウンの影響で景気の減速傾向が続いておりましたが、徐々に回復の兆しが見えております。そのような中、当社商品は生活必需品であることから安定供給に向けて取り組んでまいりました。

国内においては、景気の持ち直しの動きが続く中、高付加価値商品の需要を喚起するための新価値提案を継続的に実施し、市場シェアの拡大に努めてまいりました。

このような経営環境の中、当社グループは、“世界中の全ての人々のために、快適と感動と喜びを与えるような、世界初

世界No.1の商品とサービスを提供しつづけます”の基本方針に基づき、独自の不織布加工・成形技術と消費者ニーズを捉えた商品の開発に努め、世界中の人々が平等で不自由なく、その人らしさを尊重し、やさしさで包み支え合う、心つながる豊かな社会である「共生社会」=Social Inclusionの実現に向けて取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高421,614百万円(前年同四半期比11.8%増)、コア営業利益55,421百万円(前年同四半期比10.3%減)、税引前四半期利益56,372百万円(前年同四半期比12.9%減)、四半期利益36,625百万円(前年同四半期比19.9%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益31,764百万円(前年同四半期比20.5%減)となりました。

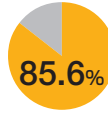
※1 当社グループは、2017年12月期から国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。

※2 当社が公表するコア営業利益はIFRSで定義されている指標ではありませんが、当社の経常的な事業業績を測る指標として有益な情報であると考えられるため、開示しております。

パーソナルケア

| (単位:百万円) | 前年度 2021年1月1日から6月30日まで | 当年度 2022年1月1日から6月30日まで | 増減額 | 増減率 |
|----------|---------------------------|---------------------------|---------|--------|
| 売上高* | 325,364 | 360,983 | +35,619 | +10.9% |
| コア営業利益 | 54,514 | 48,228 | -6,286 | -11.5% |

*外部顧客に対する売上高を記載しております。



売上高構成比

●ウェルネスケア関連商品

海外においては、日本以上のスピードで高齢化が進み、大人用排泄ケア用品の対象人口が多い中国では、現地のニーズに合った新商品を発売し、積極的なマーケティング投資により、大人用排泄ケア用品の認知拡大と普及促進に取り組んでまいりました。大人用排泄ケア用品の需要が高まっているタイ、インドネシア、ベトナム、マレーシアといった東南アジア地域では、商品ラインアップの拡充と、日本で確立したケアモデルの普及促進を図ってまいりました。

高齢者人口の増加により拡大が続く国内市場においては、COVID-19禍の生活環境に慣れてきたことや、ワクチン接種が進んだことなどもあり、市場が回復基調へ転じました。そのような中、健康寿命の延伸に繋がる軽度・中度商品を中心に幅広い商品ラインアップの拡充により、安定的な成長を実現いたしました。

また、マスクの使用が日常的に定着したことで、安心・安全の面から日本メーカー製のマスクの需要が高まる中、『超快適』、『超立体』両ブランドの安定供給を進め、市場シェアの拡大に努めてまいりました。

感染対策としてマスクが欠かせなくなった一方、口元や表情が見えず、コミュニケーションに不安を抱えている方に向けては、ウイルス飛沫を対策しながら、口元や顔の表情が視認できる『unicharm 顔がみえマスク』を発売し、全ての人々が平等で不自由なく暮らせる「共生社会」=Social Inclusionの実現に向けて取り組んでまいりました。

今後は日本だけではなく世界的にも同様に安心・安全の面からマスクの需要の高まりが見込まれることからマスクの海外展開を強化し、さらなる成長に向けて取り組んでまいります。

知る・役立つ：紙おむつの未来を考えるnote

●フェミニンケア関連商品

中国においては、一部地域で一時的にCOVID-19の拡大によるロックダウンなどがあり、供給面では若干影響を受けましたが、安定供給に向けて取り組み、需要を満たしてまいりました。若年層から品質の高さとデザインのかわいらしさに対して引き続き高いご支持をいただき、継続的な新価値提案を実施した結果、ショーツ型生理用ナプキンや、オーガニックコットン素材の生理用ナプキンなどを中心に引き続き成長を実現いたしました。また、販売エリアや、取り扱い店舗数の拡大、eコマースにおける新プラットフォームの活用による販売強化などにも取り組んでまいりました。タイ、インドネシア、ベトナムといった東南アジア地域においても、清涼感のあるつけ心地を実現したクールナプキンなどの高付加価値商品が好調に推移し、安定的な成長を実現いたしました。また、中東では、現地の習慣を捉えた、オリーブオイルを配合した新商品などの販売や、積極的なマーケティング投資によりサウジアラビア国内販売に加え、サウジアラビアから近隣中東諸国への輸出も進めた結果、高い成長を実現いたしました。

対象人口が減少傾向の国内においては、健康意識と安心志向が高まる中、女性のライフスタイルに合わせた高付加価値商品展開や、SNSなどを活用した消費者とのコミュニケーションでブランド価値の向上に努めた結果、高い成長を実現いたしました。

知る・役立つ：#NoBagForMe*

*生理について気兼ねなく話せる世の中を目指すプロジェクト

[スマートフォンアプリ] ソフィガール はじめての生理日管理



●ベビーケア関連商品

COVID-19の拡大の影響で、市場の二極化が進んでいたタイにおいては、2018年に買収したDSG (Cayman) Ltd.とのシナジーを活かし、幅広いお客様のニーズに応じてまいりました。また、同様にCOVID-19による景気の悪化から持ち直し市場の回復が進む中、昨年末からの価値転嫁によってコストアップを吸収し、成長を実現いたしました。新興国のなかでも紙おむつの普及率が未だ低いインドにおいては、インド北部の工場再稼働と既存工場の生産増強、近隣諸国からの輸入でパンツ型紙おむつの普及促進を図りながら販売エリアと市場シェアの回復に努めた結果、高い成長を実現いたしました。ロックダウンの影響や、少子化の進行、ローカル企業の台頭などによって、様々な変化がみられる中国では、日本製需要の減退の中、収益性の高い中国製プレミアム商品へのシフトを加速させるために在庫調整した結果、売上高は伸び悩みましたが、eコマースチャネルやベビー専門店を中心に高付加価値商品である中国製『ムーニー』ブランドの販売強化に取り組むなど、多様化する消費者ニーズに商品と販売チャネルの両面で応えながら収益性の改善に努めてまいりました。しかしながら、高収益商品へのシフトに関わるコスト増、資源価格高騰による製造原価や、物流費などの増加により、減益となりました。

少子化が進み、市場が縮小傾向の国内においては、『ムーニー』や『ナチュラル ムーニー』ブランドなどの高付加価値商品を含めた幅広い商品ラインアップで笑顔あふれる育児生活の実現に取り組む、ブランド価値の向上に努めた結果、安定的な成長を実現いたしました。

知る・役立つ：ムーニーちゃん学級*

*出産や育児の不安をサポートするオンラインプログラム

[スマートフォンアプリ] ムーニーちゃんと トイレトレーニング



●Kireiケア関連商品

物理的な美しさや清潔さだけでなく、人の内面まで包含する美しさをあえて表音文字であるアルファベットで「Kirei」と表記することで、日本だけでなく、全世界に広い概念と共通の表現として発信し、「すべての人々が安心・安全でKireiな生活を送れる環境を目指す」という思いを込めて、ウェルネスケア関連商品とベビーケア関連商品のワイプス、化粧用コットンを統合し、「Kireiケア関連商品」といたしました。

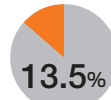
国内においては、ウェットティッシュ『シルコット』ブランドの安定供給と、市場シェアの拡大に努めた結果、安定的な成長を実現いたしました。今後は日本だけではなく世界的にも同様に衛生意識の高まりと使用の定着が見込まれることから、世界中の全ての人々が安心・安全でKireiな生活を送ることができる環境を目指してまいります。

この結果、パーソナルケアの売上高は360,983百万円(前年同四半期比10.9%増)、セグメント利益(コア営業利益)は48,228百万円(前年同四半期比11.5%減)となりました。

ペットケア

| (単位:百万円) | 前年度 2021年1月1日から6月30日まで | 当年度 2022年1月1日から6月30日まで | 増減額 | 増減率 |
|----------|---------------------------|---------------------------|--------|--------|
| 売上高* | 48,587 | 56,962 | +8,375 | +17.2% |
| コア営業利益 | 6,949 | 7,013 | +64 | +0.9% |

※外部顧客に対する売上高を記載しております。



売上高構成比

国内においては、一昨年からCOVID-19拡大の影響で、在宅時間が増えたことなどによりペットの飼育頭数の増加に加え、ペットとの接触機会が増えております。そのような中、ペットフードにおいては、猫用では健康志向の高まりに応えた商品などで、消費者の満足度向上に努めてまいりました。また、犬用では犬種ごとの身体の特徴や年齢に合わせた商品や、新コンセプト商品である筋肉の健康を維持するカラダづくりフードなどの販売を強化してまいりました。また、ペットトイレタリーにおいては、犬用ペットシートや猫用システムトイレなどが堅調に推移した結果、安定的な成長を実現いたしました。

北米市場においても、COVID-19拡大の影響で、ペットの飼育頭数とペットとの接触機会が増える環境下、一部商品で、昨今の急激なコストアップに対応した販売価格としましたが、日本の技術を搭載し、これまで市場になかった新たなコンセプトの猫ウェットタイプ副食や、高品質な犬用トイレタリーシートなどの販売が好調に推移し、高い成長と収益性の改善を実現いたしました。

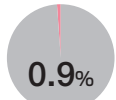
この結果、ペットケアの売上高は56,962百万円(前年同四半期比17.2%増)、セグメント利益(コア営業利益)は7,013百万円(前年同四半期比0.9%増)となりました。

知る・役立つ：パートナー・アニマル(ペット)のQ&Aサービス「DOGAT」

その他

| (単位:百万円) | 前年度 2021年1月1日から6月30日まで | 当年度 2022年1月1日から6月30日まで | 増減額 | 増減率 |
|----------|---------------------------|---------------------------|------|--------|
| 売上高* | 3,009 | 3,668 | +659 | +21.9% |
| コア営業利益 | 320 | 180 | -140 | -43.7% |

※外部顧客に対する売上高を記載しております。



売上高構成比

不織布・吸収体の加工・成形技術を活かした業務用商品分野において、産業用資材を中心に販売を進めてまいりました。

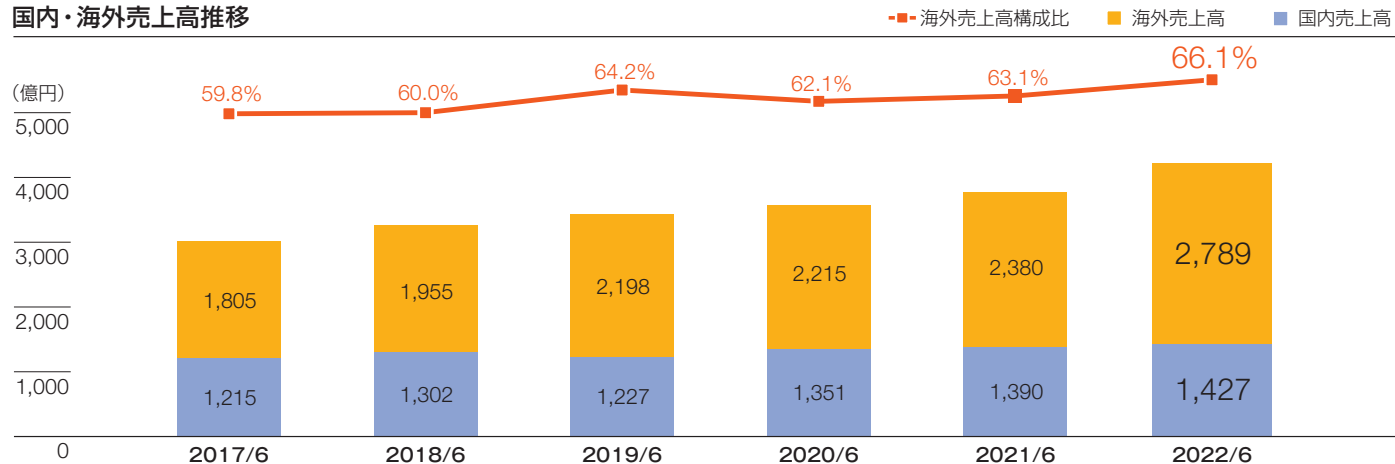
この結果、その他の売上高は3,668百万円(前年同四半期比21.9%増)、セグメント利益(コア営業利益)は180百万円(前年同四半期比43.7%減)となりました。

商品情報等については下記HPをご覧ください。

商品情報： ウェルネスケア、ペットケア、フェミニンケア、ベビーケア、Kireiケア、その他

知る・役立つ： 介護・排泄ケアに関する情報、犬・猫と一緒に暮らすための情報、女性のからだ(生理・スキンケア・吸水ケア)に関する情報、妊娠・出産・育児に関する情報、防災・衛生に関する情報、小中学生向けの自由研究に関する情報

国内・海外売上高推移



※当社グループは、2017年12月期から国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。

会社概要 (2022年6月30日現在)

| | |
|---------|---|
| 社名 | ユニ・チャーム株式会社 |
| 英訳名 | Unicharm Corporation |
| 設立 | 1961年2月10日 |
| 資本金 | 159億93百万円 |
| 本店 | 愛媛県四国中央市金生町下分182番地 |
| 本社事業所 | 東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所(プライム市場) |
| 主な事業内容 | ベビーケア関連製品、フェミニンケア関連製品、 ウェルネスケア関連製品、Kireiケア関連商品、 ペットケア関連製品 |

役員 (2022年6月30日現在)

取締役

| | |
|----------------------|-------|
| 代表取締役 社長執行役員 | 高原 豪久 |
| 取締役 副社長 | 森 信次 |
| 取締役 専務執行役員 | 彦坂 年勅 |
| 取締役 監査等委員 (社外取締役) | 和田 浩子 |
| 取締役 監査等委員 (社外取締役) | 杉田 浩章 |
| 取締役 監査等委員 | 浅田 茂 |

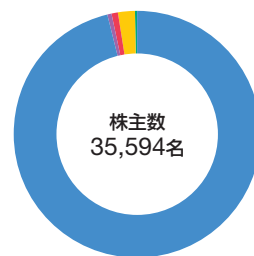
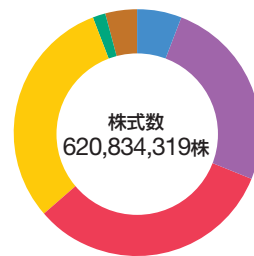
執行役員

| | |
|--------|-------|
| 社長執行役員 | 高原 豪久 |
| 専務執行役員 | 彦坂 年勅 |
| 専務執行役員 | 高久 堅二 |
| 専務執行役員 | 志手 哲也 |
| 常務執行役員 | 中井 忠 |
| 常務執行役員 | 島田 弘達 |
| 上席執行役員 | 関 忍 |
| 上席執行役員 | 鶴飼 哲男 |
| 上席執行役員 | 木内 悟 |
| 上席執行役員 | 岡 盟 |
| 上席執行役員 | 渡辺 勉 |
| 上席執行役員 | 村上 雅則 |
| 執行役員 | 佐藤 栄潤 |
| 執行役員 | 加藤 秀男 |
| 執行役員 | 森田 徹 |
| 執行役員 | 稲葉 洋恵 |
| 執行役員 | 寺川 琢己 |
| 執行役員 | 藤田 徹 |
| 執行役員 | 柏木 政浩 |
| 執行役員 | 織田 武 |
| 執行役員 | 山中 重人 |
| 執行役員 | 矢野 正典 |
| 執行役員 | 城戸 勉 |
| 執行役員 | 上田 健次 |
| 執行役員 | 井口 大輔 |
| 執行役員 | 石井 裕二 |
| 執行役員 | 岡田 尊弘 |
| 執行役員 | 田中 嘉則 |
| 執行役員 | 尚永 孝一 |

株式の状況 (2022年6月30日現在)

| | | |
|--|--------------------------------------|---------|
| 発行可能株式総数 | 827,779,092株 | |
| 発行済株式の総数 | 620,834,319株 (自己株式24,616,043株を含む) | |
| 株主数 | 35,594名 | |
| 大株主 | | |
| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
| ユニテック(株) | 154,957 | 26.0 |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) | 70,101 | 11.8 |
| 高原基金(株) | 28,080 | 4.7 |
| (株)日本カストディ銀行(信託口) | 24,265 | 4.1 |
| (株)伊予銀行 | 15,300 | 2.6 |
| 日本生命保険(相) | 12,189 | 2.0 |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株)(退職給付信託口・広島銀行口) | 12,101 | 2.0 |
| BNYMSANV RE MIL RE FSI ICVC-STEWART INV ASIA PACIFIC LEADERS FD | 10,893 | 1.8 |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DEPOSITARY RECEIPT HOLDERS | 9,515 | 1.6 |

(注) 1. 持株数は、千株未満を四捨五入して表示しております。
2. 当社は自己株式を24,616,043株保有していますが、上記大株主からは除外しております。

所有者別
株主分布状況所有者別
株式分布状況

株主メモ

| | |
|--------------------------|---|
| 事業年度 | 1月1日～12月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 12月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 6月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年3月 |
| 株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 (電話ご照会先・郵送先) | TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所(プライム市場) |
| 公告の方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL https://www.unicharm.co.jp/ja/ir/e-announcement.html ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。 |

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



企業情報サイト

<https://www.unicharm.co.jp/ja/company.html>

投資家情報サイト

<https://www.unicharm.co.jp/ja/ir.html>

個人投資家の皆様へ

<https://www.unicharm.co.jp/ja/ir/individual.html>

表紙

作品タイトル
「感謝のサークル」

takahashi